

宮津農水商工観連携会議（第3回）を開催しました。 （平成26年12月16日）

○ 第3回目の宮津農水商工観連携会議を開催しましたので、会議内容についてお知らせします。

1 日 時 平成26年12月16日（火）9：30～11：30

2 場 所 宮津商工会議所 大会議室（3F）

3 主な内容

平成26年度事業の経過・進捗状況について、事務局から報告を行いました。

(1) 連携会議の事業コンセプト

コンセプトづくりチーム（チーム名称：だんない宮津プロジェクト）において、7月から11月までの計5回の会議で検討してきた連携会議の事業コンセプト案として、『天・地・山・海 「しあわせ」の宮津遺産』を報告し、承認を受けました。

コンセプト：天・地・山・海 「しあわせ」の宮津遺産

宮津には、その豊かな風土がもたらす恵み、天然の良質なものがたくさんあるが、無くなってしまったもの、わずかに残っているものもある。

世界遺産を目指す天橋立、そのおひざ元の宮津で、そうした今残っている産物や埋もれている産物を掘り起こし、宮津が誇るものとして磨いて、宮津遺産として発信し、現在の暮らしに提供する。

また、今後の展開方法として、「宮津遺産」の商標登録や宮津遺産認定のための基準づくりを進めていくほか、幻の特産品復活を目指すプロジェクトの実施等を検討していくこととなりました。

委員からは「宮津の野菜や水産物などは少量多品目が特徴であるが、量ではなく質で勝負する、まず質を進化させれば量も増える」、「それぞれのお店が、お客様により喜んでもらえるような商品を競争して出せるような取組をしていけばいいのでは」、「宮津遺産を選ぶときは、市民が参画できるような形をとるべきだ」等の意見が出されました。

今後は、これらの意見も踏まえ、取組を進めていくこととします。

※ 今回の総会后、コンセプトづくりのアドバイスをいただいていた福井隆連

携会議アドバイザー（東京農工大学客員教授）からの意見もあり、コンセプトの文言を一部変更しました。

（変更前） 『天・地・山・海 「しあわせ」の宮津遺産』



（変更後） 『天・地・山・海の「しあわせ」 宮津遺産』



（これらは、イメージです。）

(2) チームでの取組

関係者が集まってチームとして取り組んでいる、「煉製品販売拡大」、「細川料理」、「カレー焼きそば」、「宮津太ねぎ」等の取組の進捗状況を報告しました。

委員からは、「宮津遺産のコンセプトに沿った取組にしていかなければならない、地元の特産物の価値を高めていかなければならない」といった意見がありました。

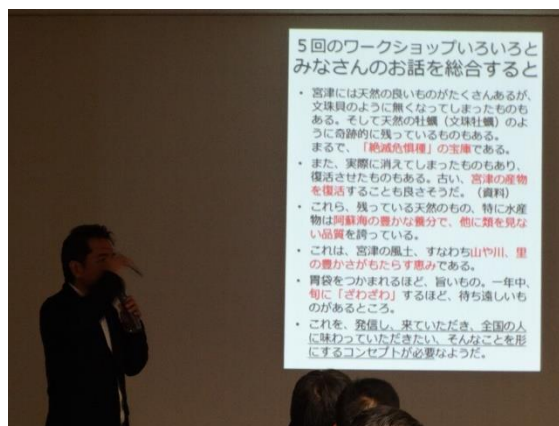
今後、コンセプトの内容を踏まえて、また優先順位をつけながらこれらの事業に取り組んでいきたいと考えています。

(3) その他の事業の進捗状況等

宮津天橋立とり貝昼処、宮津市農水商工観マッチングフェア、宮津市地産地消推進店など、連携会議が実施した又は今後実施予定の事業を報告しました。



余田会長 開会あいさつ



福井隆アドバイザー コンセプト説明
(東京農工大学客員教授)



(右) 坂元英俊福井隆アドバイザー
(株式会社マインドシェア
観光地域づくりアドバイザー)
(左) 福井隆アドバイザー



神田副会長 閉会あいさつ

